福祉サービス第三者評価結果報告書【平成31年度(2019年度)】

2020 年 3 月 19 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 203-0031

所在地 東京都東久留米市南町1－13－38

評価機関名 株式会社ふくし・ファーム

認証評価機関番号 機構 04 ― 134

電話番号 03-3332-3334

代表者氏名 加藤 正樹 印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号		評価者氏名	担当分野	修了者番号
	①	加藤 正樹	経営	H0601051
	②	田中 康夫	経営	H0202003
	③	加藤 みゆき	福祉	H0601067
	④	渡邊 貴輝	福祉	H1701050
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認定こども園			
評価対象事業所名称	ひめゆりこども園			
事業所連絡先	〒	187-0023		
	所在地	東京都小平市上水新町1丁目5番15号		
	TEL	042-343-1832		
事業所代表者氏名	河野 史郎			
契約日	2019 年 6 月 13 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2019 年 11 月 18 日			
利用者調査結果報告日	2020 年 1 月 29 日			
自己評価の調査票配付日	2019 年 7 月 20 日			
自己評価結果報告日	2020 年 1 月 29 日			
訪問調査日	2020 年 2 月 5 日			
評価合議日	2020 年 2 月 25 日			
コメント(利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	事前説明には、評価の理解を深めて頂く為、評価の全体像や具体例を用いた判りやすい資料を作成し、丁寧に説明を行いました。事業評価においては、自己評価の事実確認に徹し、第三者性の担保に配慮しました。また、利用者調査および事業評価の集計結果は、独自開発による集計シートを用い、グラフ・表によりわかりやすく報告しました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、
- ◉ 機構が定める部分を公表することに同意します。
- ○ 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- ○ 別添の理由書により、公表には同意しません。

2020 年 3 月 17 日

事業者代表者氏名 小平姫百合幼稚園 印
認定こども園ひめゆりこども園
園長 河野 史郎

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：認定こども園〕

平成31年度（2019年度）

《事業所名：ひめゆりこども園》

1	**理念・方針 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）**
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、 特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1)子ども達の秘めたる可能性を種と称して、一つでも多くの芽が育つよう、子どもが豊かに学べる環境を築いています。 2)子ども達の学びには旬があると捉え、季節はもちろん、興味関心を持った瞬間を大切に次の学びへと結びつけています。 3)体験を通した学びで五感をフル回転させ、あかるく、たくましく、心豊かに育つよう、自然、社会とのつながりを大切に保育しています。 4)お子さんの入園と共に保護者の皆さんも入園したと考え、保育参加や保育補助又保護者のサークル活動等を促し、子育て支援をしています。 5)職員と保護者が協力、連携して一人一人の子どもを一緒に育てていきます。
2	**期待する職員像 （関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）**
	（1）職員に求めている人材像や役割
	・子ども一人ひとりの姿に心を寄せ、その子の思いを受け止めて、共に学び、成長していける職員。 ・保育教育のプロとしての意識を持ち、子ども・保護者・地域との連携を図っていける職員。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	常に学ぶ心を忘れず自己研鑽に努める。

《事業所名：ひめゆりこども園》

調査対象	調査対象は、在園児の保護者全員を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答のご回答をいただきました。 [調査対象世帯数：124世帯(在園児131名)]
調査方法	園より保護者全員に調査票を配布して頂きました。回収については、評価機関への郵送、または園内に設置した回収箱への投函により提出して頂くようにしました。

利用者総数	131
利用者家族総数（世帯）	124
共通評価項目による調査対象者数	124
共通評価項目による調査の有効回答者数	69
利用者家族総数に対する回答者割合（%）	55.6

利用者調査全体のコメント

「現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか」との質問に対して、「大変満足」42．0%、「満足」42．0%、「大変満足」と「満足」を合わせて84．1%の回答率となっています。「どちらともいえない」が8．7%、「不満」「大変不満」がいずれも1．4%、無回答が4．3%でした。園のサービスに対する保護者の満足度が高いことが確認されました。回収率が55．6%でした。個別設問では、問3「園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」について「はい」の回答率が94．2%で最も高く、問18「外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか」では「はい」の回答率が26．1%と最も低くなっています。ただし、これは1号認定と2号認定の利用者の結果を総合したものであり、下記の個別設問では1号認定と2号認定の各利用者の回答状況を別にし、併記して報告します。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答非該当
1．運動や休息の配分は、子どもの発達の状態や在園時間に応じて工夫されているか	47	14	2	6
1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の66．7%を占め、「どちらともいえない」が25．0%、「いいえ」が4．2%、「無回答・非該当」が4．2%という結果でした。多様な意見が寄せられました。 2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の66．7%を占め、「どちらともいえない」が25．0%、「いいえ」が4．2%、「無回答・非該当」が4．2%という結果でした。				
2．園での活動は、子どもの教育や心身の発達に役立っているか	64	5	0	0
1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の91．1%を占め、「どちらともいえない」が8．9%、「いいえ」が0．0%、「無回答・非該当」が0．0%という結果でした。多様な意見が寄せられました。 2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の95．8%を占め、「どちらともいえない」が4．2%、「いいえ」が0．0%、「無回答・非該当」が0．0%という結果でした。				
3．園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	65	4	0	0
1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の93．3%を占め、「どちらともいえない」が6．7%、「いいえ」が0．0%、「無回答・非該当」が0．0%という結果でした。 2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の95．8%を占め、「どちらともいえない」が4．2%、「いいえ」が0．0%、「無回答・非該当」が0．0%という結果でした。				

4. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	32	26	10	1

1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の48．9%を占め、「どちらともいえない」が37．8%、「いいえ」が11．1%、「無回答・非該当」が2．2%という結果でした。自由記述では、献立や調理方法について改善を期待する声が多く寄せられました。
2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の41．7%を占め、「どちらともいえない」が37．5%、「いいえ」が20．8%、「無回答・非該当」が0．0%という結果でした。自由記述では、献立や調理方法について改善を期待する声が多く寄せられました。

5. 園の生活の中で、身近な自然や社会と十分関わっているか	64	4	1	0

1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の93．3%を占め、「どちらともいえない」が4．4%、「いいえ」が2．2%、「無回答・非該当」が0．0%という結果でした。自由記述では、自然との触れ合いや活動内容について満足を示す声が多く寄せられました。
2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の91．7%を占め、「どちらともいえない」が8．3%、「いいえ」が0．0%、「無回答・非該当」が0．0%という結果でした。

6. 保育時間の変更が急きょ必要になった場合、開園時間内において、園の可能な限り、柔軟に対応されていると思うか	41	13	4	11

1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の53．3%を占め、「どちらともいえない」が15．6%、「いいえ」が8．9%、「無回答・非該当」が22．2%という結果でした。自由記述では、保育時間の変更について改善を期待する声が多く寄せられました。
2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の70．8%を占め、「どちらともいえない」が25．0%、「いいえ」が0．0%、「無回答・非該当」が4．2%という結果でした。

7. 安全対策が十分取られていると思うか	46	18	4	1

1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の71．1%を占め、「どちらともいえない」が24．4%、「いいえ」が2．2%、「無回答・非該当」が2．2%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。
2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の58．3%を占め、「どちらともいえない」が29．2%、「いいえ」が12．5%、「無回答・非該当」が0．0%という結果でした。

8. 園の活動に保護者が参加しやすいよう、工夫されているか	48	17	4	0

1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の77．8%を占め、「どちらともいえない」が17．8%、「いいえ」が4．4%、「無回答・非該当」が0．0%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。
2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の54．2%を占め、「どちらともいえない」が37．5%、「いいえ」が8．3%、「無回答・非該当」が0．0%という結果でした。自由記述では、行事の日時設定について改善を期待する声が多く寄せられました。

9. 子どもの教育・保育について家庭と園に信頼関係があるか	52	13	4	0

1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の75．6%を占め、「どちらともいえない」が17．8%、「いいえ」が6．7%、「無回答・非該当」が0．0%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。
2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の75．0%を占め、「どちらともいえない」が20．8%、「いいえ」が4．2%、「無回答・非該当」が0．0%という結果でした。

10. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	64	5	0	0

1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の93．3%を占め、「どちらともいえない」が6．7%、「いいえ」が0．0%、「無回答・非該当」が0．0%という結果でした。
2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の91．7%を占め、「どちらともいえない」が8．3%、「いいえ」が0．0%、「無回答・非該当」が0．0%という結果でした。

11. 職員の接遇・態度は適切か	54	12	3	0
1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の75. 6%を占め、「どちらともいえない」が20. 0%、「いいえ」が4. 4%、「無回答・非該当」が0. 0%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。 2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の83. 3%を占め、「どちらともいえない」が12. 5%、「いいえ」が4. 2%、「無回答・非該当」が0. 0%という結果でした。				
12. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	58	9	1	1
1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の86. 7%を占め、「どちらともいえない」が8. 9%、「いいえ」が2. 2%、「無回答・非該当」が2. 2%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。 2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の79. 2%を占め、「どちらともいえない」が20. 8%、「いいえ」が0. 0%、「無回答・非該当」が0. 0%という結果でした。				
13. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	47	16	1	5
1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の64. 4%を占め、「どちらともいえない」が26. 7%、「いいえ」が2. 2%、「無回答・非該当」が6. 7%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。 2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の75. 0%を占め、「どちらともいえない」が16. 7%、「いいえ」が0. 0%、「無回答・非該当」が8. 3%という結果でした。				
14. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	59	7	3	0
1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の86. 7%を占め、「どちらともいえない」が8. 9%、「いいえ」が4. 4%、「無回答・非該当」が0. 0%という結果でした。 2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の83. 3%を占め、「どちらともいえない」が12. 5%、「いいえ」が4. 2%、「無回答・非該当」が0. 0%という結果でした。				
15. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	57	7	4	1
1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の84. 4%を占め、「どちらともいえない」が11. 1%、「いいえ」が2. 2%、「無回答・非該当」が2. 2%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。 2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の79. 2%を占め、「どちらともいえない」が8. 3%、「いいえ」が12. 5%、「無回答・非該当」が0. 0%という結果でした。				
16. 教育・保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	59	8	1	1
1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の84. 4%を占め、「どちらともいえない」が11. 1%、「いいえ」が2. 2%、「無回答・非該当」が2. 2%という結果でした。 2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の87. 5%を占め、「どちらともいえない」が12. 5%、「いいえ」が0. 0%、「無回答・非該当」が0. 0%という結果でした。				
17. 利用者の不満や要望は対応されているか	47	11	6	5
1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の66. 7%を占め、「どちらともいえない」が15. 6%、「いいえ」が8. 9%、「無回答・非該当」が8. 9%という結果でした。 2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の70. 8%を占め、「どちらともいえない」が16. 7%、「いいえ」が8. 3%、「無回答・非該当」が4. 2%という結果でした。				

18. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	18	15	33	3
1号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の28．9%を占め、「どちらともいえない」が22．2%、「いいえ」が44．4%、「無回答・非該当」が4．4%という結果でした。 2号認定の利用者においては、「はい」と答えた方が全体の20．8%を占め、「どちらともいえない」が20．8%、「いいえ」が54．2%、「無回答・非該当」が4．2%という結果でした。				

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリー1～5、7）

No.	共通評価項目
	カテゴリー1
1	リーダーシップと意思決定
	サブカテゴリー1（1-1）
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　7／7

評価項目1
事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
◉あり　○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当

評価項目2
経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
◉あり　○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当

評価項目3
重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している　評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
◉あり　○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
◉あり　○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当

カテゴリー1の講評

園は子どもの秘めた可能性を大きく育てるための教育を目指す方針を明示しています

幼稚園型認定子ども園としてホームページ等に教育・保育方針を明示しています。園の教育方針は子どもの秘めた可能性（種）を大きく育てるための教育を目指して、子ども達が豊かに学べる教育環境を整えています。年度始めには系列園の全職員が参加する法人の集まりで、学園長が教育理念について話をしています。園内研修や日頃の会話を通して教育方針を伝えて職員の理解を深めています。利用者には入園前後の説明会、園だより、園のしおり、クラスたよりなどを通じて、園の考えなどを伝えています。

経営層の役割・責任を職員と確認しています

経営層の役割・責任は法人の諸規定に記載されています。年度始めの職員会議で役職員の職務分担の確認をしています。確認した役割は「職務分担表」にして一覧形式で分かりやすく明記されています。小規模園で経営層と職員の距離が近いので、確認事項などがスムーズに行えています。お便り帳や連絡帳に代わる画像入りの「ラーニングストーリー」の導入では、園長はリーダーシップを発揮して今年度からの実施に主導的な役割を果たしました。

保育に関する案件は検討段階から職員が参加しています

重要案件の決定手順については、保育に関する案件は検討段階から職員と話し合いを行い、職員会議で決定しています。経営的な案件は園長など経営層の意向が反映されます。決定事項は朝礼や会議録の回覧で職員に周知されます。利用者への周知は園だより、父母会、説明会、係活動の打ち合わせなどの折に行われています。国の制度変更に当たっては、臨時に説明会を開催して伝えています。

	カテゴリー2
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー1(2-1)

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6／6

評価項目1
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点(○○○○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
◉あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◉あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◉あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◉あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー2(2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5／5

評価項目1
事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

評点(○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◉あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◉あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目2
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◉あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリー2の講評

行事後にアンケート調査を実施して利用者の意向の把握に努めています

園は運動会、クリスマス会、芋掘りなど保護者が参加する行事後にアンケート調査を年5～6回実施しています。また、第三者評価を受審した際の利用者調査も活用して、利用者の意向の把握に努めています。園は調査内容を集計して、回答すべき事項については手紙で個別に伝えています。職員には集計結果を職員会議で伝えています。職員の意向を年数回、個別面談を実施し把握しています。年1回は必ず全職員と面談しています。

様々な地域ネットワークに参加して情報収集しています

園長会、幼・保・小連絡会、要保護児童対策連絡協議会、学校のコミュニティースクール、市の審議会など様々な地域ネットワークに参加して、地域の福祉や行政の動向に関する情報を収集しています。専門紙を購読して、業界の動向などの情報収集して、関係する情報をその都度職員に周知しています。把握した情報を園の保護者や子どもの実態とすり合わせて、経営層を中心に検討しています。

園の中・長期計画はやや具体性を欠く内容になっています

変化に対応できる体制作りを大切に中・長期計画を策定していますが、10年後を見据えたものであるため、計画の内容はやや具体性を欠いています。施設の拡充については中・長期計画計画に明記されていませんが、系列園と連携を深める狙いで隣接地に園舎を増設する予定があります。単年度計画については、園長が策定して年度始めに職員会議で職員に周知しています。単年度計画に合わせて園長が予算を編成しています。今年度はパソコンとデジタルカメラを購入して保育者に配布しました。来年度の予算では園バス購入を予定しています。

	カテゴリー3		
3	経営における社会的責任		

サブカテゴリー1(3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2／2

評価項目1
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる　　評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
◉あり　○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している	○非該当

サブカテゴリー2(3-2)

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4／4

評価項目1
利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている　　評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
◉あり　○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当

評価項目2
虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている　　評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
◉あり　○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当

サブカテゴリー3(3-3)

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5

評価項目1
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる　　評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
◉あり　○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

評点(○○○)

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
◉あり　○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
◉あり　○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー3の講評

就業規則に変更がある場合には、読み合わせをして確認しています

「教職員の心得及び服務基準」を入職時に職員に配布して、プロの保育者としての自覚を促しています。法令遵守や個人情報の守秘義務などが記載された就業規則を事務所内に置き、職員がいつでも閲覧できるようにしています。就業規則に変更がある場合には、職員会議で読み合わせをして確認しています。園内研修や職員会議などで他園の事例も参考にしてコンプライアンス意識の向上に取り組んでいます。

利用者からの要望等には内容により文書や園だよりで返答しています

苦情解決制度については、入園時の重要事項説明書や園だよりで利用者に周知しています。外部の相談先として、2名の民生委員が園の第三者委員に就任していますが、利用者の認知度は低く周知が課題です。日常会話などで利用者から要望などを把握した場合には、職員会議で対応を集約して、文書や園だよりで返答します。要望等が園の根幹にかかわる事項の場合には、園長が直接伝えます。虐待の防止に向けて、園長、事務職員を含めて全職員がそれぞれの立場で子どもと職員の様子を見守りながら相互チェックを行っています。

毎年多数の実習生と学生ボランティアを受け入れています

園は将来の保育人材を期待して、毎年多数の実習生と小学校生から高校生まで職場体験や保育補助のボランティアを受け入れています。小学生ボランティアは毎年50人程度受け入れており、クラスに入り子ども達と遊んだり、制作の手伝いをしています。登録者に書面で育児相談や子育て情報の提供などを行う「子育てはがき通信」を毎月500部発行しています。登録者は市内だけでなく近隣の市にも及んでおり、広範囲です。未就園児親子に園庭を開放して、保護者同士の交流や育児相談の場としての役割を果たしています。

カテゴリー4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリー1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　3／5

評価項目1
事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(○○○●●)

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
◉あり　○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
○あり　◉なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
○あり　◉なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
◉あり　○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリー2(4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4／4

評価項目1
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点(○○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
◉あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
◉あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
◉あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリー4の講評

地震対策ではマニュアルの配布や園内研修、備蓄品などで対応しています

地震対策として、「学校危機管理マニュアル(防災対策編)」を職員に配布したり、避難訓練や年度始めに園内研修で、防災について理解を深めています。年長の子ども達は防災館に行き、地震体験をしています。また、備蓄品にも力を入れています。定期的に備蓄品の見直しを行ったり、他園の備蓄品も当園で保管しています。火災訓練では年1回消防署と連携して実施しています。事業継続計画については、内容を検討中です。感染症については、情報を市のメールや医師会から収集して職員に回覧したり、掲示で利用者に周知しています。

怪我やヒヤリハットに対しては、記録して閲覧したり、朝礼で周知しています

不審者対策では、避難訓練や刺股の使用訓練、学校110番の活用などを行っています。隔年で職員は警察官を招いて、実例を交えた話を聴講しています。怪我が発生した場合には所定の記録用紙に時刻や状況などを記入しています。記録の綴りをいつでも閲覧できるように事務所内に置いています。ヒヤリハットも同様の取り扱いをし、朝礼でも周知しています。プール事故に備えて、使用開始前に園内研修をしています。戸外活動の際には記録簿で時間や付き添い者の確認をしています。職員は全員救急救命の上級資格を取得しています。

個人情報保護と守秘義務については、会議での話や誓約書で周知徹底を図っています

個人情報保護と守秘義務については、園長が機会ある毎に会議などで職員に話をしたり、入職時に誓約書をもらい周知徹底を図っています。個人情報の収集や保管などは文書取り扱い規定でルール化しています。機密性の高い情報は事務所内の鍵付きの保管棚で管理されています。外部からパソコンへ侵入するのを防止するファイアウォールを強化しています。ブログなどへの子ども写真の掲載可否を予め同意書で確認しています。掲載時には他のクラスの職員とダブルチェックをしています。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 10／12

評価項目1
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目2
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

評点(●●)

評価	標準項目	
○あり ◉なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
○あり ◉なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点(○○○○)

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
◉あり　○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
◉あり　○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
◉あり　○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

評点(○○○○)

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
◉あり　○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
◉あり　○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
◉あり　○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリー2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　3／3

評価項目1
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

評点(○○○)

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
◉あり　○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
◉あり　○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリー5の講評

職員の採用では幼稚園教諭免許・保育士資格を持った人を対象としています

当園は幼稚園型の子ども園であるため、幼稚園教諭免許・保育士資格を持った職員を採用しています。園はホームページや就職フェアーに参加して職員を募集しています。採用試験では技術・知識に加えて人柄も重視しています。パート職員は外掲示板やハローワークを通じて募集しています。系列園との人事交流によっても人材確保しています。職員の配置では2クラスに1人の割合でフリーの職員を置いています。新入職員の定着に向けて、先輩職員が1年を通して指導するバディー制度を導入しています。

キャリアパスに連動した人材育成は来年度から実施予定です

キャリアパス支援規程を整えて、来年度からキャリアパスに連動した人材育成計画を策定予定です。キャリアパスのシステムは構築中のため、職員への周知は今後行われる予定です。園の研修制度は年1回系列園との合同で法人研修が実施されます。全職員を対象とした園内研修を年8回行っています。外部研修については情報を事務所に掲示して、希望者が参加できる体制にしています。新入職員の指導を担当する職員には副園長がアドバイスをするなど組織的に支援しています。

職員にとって自由度が高い勤務体制を導入しています

園は年度始めに職員と契約書を交わして、合意の上で勤務体制を確定させる変形労働時間制を昨年度から導入しています。年間を通して決められた勤務時間を確保すれば、1日の勤務時間を自由に設定できます。更に、学期毎に1日は自由研究日として出勤扱いの休暇制度があります。園長や副園長、学園長が複数の目で人事評価を行い、処遇を連動させて意欲向上に向けた働きかけをしています。経営層が研修参加後に職員会議などで成果を報告して共有したり、他園の公開保育に参加して気づきや工夫を他の職員に還元して、組織力の向上に取り組んでいます。

	カテゴリー7
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

園では2年連続して新入職員が年度途中で退職しました。そのため、新入職員が定着して退職者が出ないように、新人職員の育成に力を入れる取り組みを行いました。具体的な取り組みとして、民間事業者が主催する外部研修へ経営層が参加して、人材育成に関するマネジメント研修を学んだり、新人職員を先輩職員が指導するバディー制度を導入したり、園長を含め職員が積極的に新人職員に声をかけることなどを実施しました。新入職員には働くとはどういうことかなど、社会人としての基本的な心構えや、レポートの作成方法などを学ぶ機会を設けました。1年間にわたり行われたバディー制度に於いて、若手・中堅職員も新人職員指導の役割を意識し始め、その結果、新入職員の年度途中の退職は無くなりました。バディー制度で新入職員を指導する中堅職員が、更に専門的な知識を持ちながら新人職員に関われるよう、中堅職員にマネジメント研修への参加を働きかけることを今後の方向性にしました。

目標の設定と取り組み	◉ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	◉ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	◉ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

従来の新人職員の教育・指導は副園長が予定されていた時間帯だけ行い、常時OJTを担当する専任職員がいませんでした。そのため、新人職員への対応や育成が不十分で、新人職員が定着しない要因になっていたと園は判断しました。人を育てることをテーマとしたマネジメント研修に経営層が参加して、職員が意欲をもって働き続けられる仕組み作りに取り組みました。園はバディー制度を導入して、経験年数3～4年の先輩職員を指導担当にして、1年間を通して新人指導の役割を担わせました。すでに3人の先輩職員がバディーを経験しました。園長など経営層と新人職員の間に、年代が近い職員がワンクッションとして入ることになるので、新人職員の悩みを聞いたり、やる気向上に前向きに取り組むことが出来ていると評価しています。また、指導する職員にも意識の変化が見られ、成長が期待できる副次的な効果がありました。

評価項目2
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

これまでのおたより帳や連絡ノートは文章だけが掲載されていました。文章だけでは伝わりにくく、読み取る事が難しいなどの課題がありましたので、より伝わる方法を模索していました。保護者に保育に対する理解をより深めてもらうことや、保育者と、子どもの成長を共有することを狙いとして、園は園長の発案によって画像入りの「ラーニングストーリー」の実施に取り組むことにしました。具体的な取り組みとして、「ラーニングストーリー・ドキュメンテーション」に関する研修に、経営層が継続的に参加し、実施に向けた検討会議を行いました。実施するにあたり、経営層で画像管理や保管方法、ファイルの素材などの具体的な検討、職員には3年前に伝えて意見を聞くなどの準備を行いました。今年度4月からお便り帳や連絡ノートを廃止して、写真入りの「ラーニングストーリー」を毎月保護者に渡して、子どもの成長を共有しました。保護者からは好反応、高評価でしたので、園は子どもの日々の様子を写真を交えて記録することを継続的に取り組むことにしました。

目標の設定と取り組み	◉ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	◉ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	◉ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園長はオーストラリアで研修中に、画像入りの「ラーニングストーリー」を取り入れた現地のカリキュラムを知る機会があって、登園でも実施することにしました。実施までの過程で、実際に記録するのは職員なので、園は3年前に伝えていました。当初は職員側に積極的な反応はありませんでした。慣れるまでに時間がかかるなど職員の負担も想定されました。園は一人1台のパソコンとデジタルカメラを配布して支援しました。「ラーニングストーリー」の実施後は保護者の反応や評価が良く、保護者との関係が良化しましたので、職員の姿勢も前向きに取り組むようになりました。副次的な効果として、保育者はより注意深く子どもを観察したり、子どもの言葉を聞くようになりました。職員の意見には「連絡帳を写真入りに代えたので、より様子が分かりやすくなった」「教員と父母が一緒に子どもの成長を喜び合う事がラーニングストーリーで実現している」との意見が見受けられました。業務としては作成に時間がかかるため、効率よくできる方法や別の記録にも活用できるかを模索していて、業務効率化に結び付く取り組みが今後の課題です。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4／4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点（○○○○）	
	評価	標準項目	
	◉あり　○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	◉あり　○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	◉あり　○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	◉あり　○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当

サブカテゴリー1の講評

市や園のホームページ、担当課の窓口、来園時の配布物から園の情報を入手できます

当保育園への入園または見学を希望する保護者は、市や園のホームページや、保育課の窓口に設置している冊子「小平市保育園のしおり」(問い合わせ先や市内公立園と私立園の所在地、定員、開園時間、保育標準時間など掲載)、市報などから園の情報を入手することができます。来園者には冊子「ひめゆりようちえんです」や希望者には外部編集による「ひめゆり幼稚園通信」「子育てハガキ」を配布しています。地域向けの掲示板は特に設けていませんが、ホームページを見てもらうことで広く情報を発信しています。

市や園のホームページにわかりやすく園の情報を掲載しています

市のホームページでは、構成施設名や所在地や電話番号、年齢・号別定員などの情報が掲載されています。園のホームページでは園の紹介(園の特徴、園の概要、安全対策、施設紹介)や園での生活(1日の流れ、預かり保育、園1年、課外教室)、子育て支援、入園案内、ブログ(クラスごとに週1回更新)などが配信されています。どのカテゴリーも写真を多用し、園での様子が分かりやすく表現されています。また、来園者に配布される冊子では園の取り組みに対する思いや子育ての参考になる内容で紹介されています。

見学は随時受付けるとともに、入園説明会や親子体験の実施もしています

見学は随時受付け、保護者の希望の日時に合わせて実施しています。また、9月と10月には入園説明会と親子体験を実施しています。主な対応は園長または事務長・副園長が行ない、冊子「園生活ご質問に答えて姫百合幼稚園」などや希望者には広報紙「ひめゆりようちえん通信」などを配布し、園での子どもの様子を見てもらいながら施設を案内し、園の特徴を説明しています。特徴としては「小じんまりした幼稚園ならではのきめ細かな保育」など園の特色を5つのポイントと、「こころ・好奇心・げんき・まなび・やる気」の種など教育の特色を伝えています。

	サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6／6

評価項目1
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
◉あり　○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◉あり　○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

評価項目2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. サービス開始時に、子どもの指導・援助に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
◉あり　○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
◉あり　○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当

サブカテゴリー2の講評

入園説明会と個人面説を実施し、基本的なルールなどについて説明し同意を得ています

入園決定後、1月中旬に入園説明会を実施し必要書類を配布しています。当日都合の悪い保護者については1月末に1日体験入園を予定しており、その日に説明しています。入園説明会では園生活のしおりをもとに、園の教育方針や基本的なルール、持ち物などについて説明しています。個別の保護者面接では入園までの子どもの状況や既往症、アレルギーの有無などの聞き取りと、重要事項説明書を配布して丁寧に説明し、説明に対する同意の確認書に署名をもらっています。また、家庭生活調査票など園指定の用紙に全園児記入を依頼し提出してもらっています。

慣れ保育を実施し、徐々に園に慣れていけるように不安の軽減に努めています

個人面接での聞き取りで把握した子どもの状況などは、指導要録に記録し情報は全職員で共有しています。入園当初は子どもが無理なく徐々に園に慣れていけるように「慣れ保育」を実施しています。2週間を目途に子どもや保護者の就労状況を考慮して、一人ひとりに合わせて進めています。希望者は5月中旬までは昼食までとし、以後は個々に合わせて通常保育に移行しています。慣れ保育実施にあたっては「新入期の生活の目安」(デイリープログラムと職員の動き、留意点)を作成し、降園まで楽しく過ごせるように配慮しています。

幼稚園保育園小学校連絡会議への参加など卒園後の支援の継続性に努めています

幼稚園保育園小学校連絡会議へ参加するとともに、各小学校との情報引継ぎも行ない、卒園後の支援の継続に努めています。また、卒園生の保護者や本人との相談にも随時対応しています。日ごろから個人面談で得た情報は職員同士共通理解することで、対応の理解を深められるように努めています。又、個人面談や保育参観を指定の期間以外でも受け入れ、保護者が不安に思った時に園と相談しながら対応できるようにしています。卒園した親子とも顔を合わせる機会を設け、行事の案内を送ったり、申し出のあった方とは個別の面談を行うなどもしています。

	サブカテゴリー3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	13／13

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(○○○)

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
◉あり　○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
◉あり　○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2
全体的な計画(教育課程を含む)や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 指導計画は、全体的な計画(教育課程を含む)を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
◉あり　○なし	2. 指導計画は、子どもの様子や子どもを取り巻く状況に即して、指導の過程についての反省や評価を行い、作成、見直しをしている	○非該当
◉あり　○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
◉あり　○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
◉あり　○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
◉あり　○なし	2. 指導計画に沿った具体的な指導・援助内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(○○○)

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、指導・援助を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
◉あり　○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
◉あり　○なし	3. 職員一人ひとりが指導事例を持ち寄り、話し合う場を設けることで職員の専門性を高め、一人ひとりの幼児理解を共有化している	○非該当

サブカテゴリー3の講評

「保育・教育課程」をもとに年間指導計画と月間指導計画を作成しています

法人の「保育・教育課程」に沿い、年齢や学年に合わせた年間指導計画や月案を作成しています。加えて教育時間外の3～5歳児の異年齢児指導計画や当園で取り組んでいる、パズルを用いたカリキュラムについても作成しています。具体的な子どもの活動については、日誌(週案・日案)の中で表現されています。日々の様子は日誌に記載し、発達状況や生活状況などは定期的に幼稚園幼児指導要録に記録しています。作成した計画をもとにしながらも、その時の状況に合わせて子どもの興味を持ったものも取り入れ、カリキュラムの見直しをしています。

子どもの成長の目安や様子は毎月ラーニングストーリーでわかりやすく伝えています

子ども一人ひとりに関する情報は幼稚園幼児指導要録や個別記録に記載しています。個別の計画は特別支援児について作成しており、記録した内容をもとに一人ひとりに合わせて作成しています。他児については月案などに個々のこどもの気なる点などを記載しています。一人ひとりの子どもの様子については、毎月ラーニングストーリー(写真の添付と、園での子どもの興味や関心、活動などエピソードを添えて、保護者からも家での様子のコメントや写真)を成長の記録としてやり取りし、子どもの発達や成長を共に確認しながら子育ての視点を共有しています。

子どもや保護者の状況などについては朝礼や夕礼で必要事項を共有しています

月案や日案は全職員必ず事務室で回覧して共有しています。計画は常勤職員が、非常勤職員と意見交換して作成しています。各種計画や日誌はそれぞれ管理、保管場所を決め、園内での閲覧は常に可能な状態になっています。連絡ノートはあえて廃止し、保護者からの連絡や園からの連絡は、「ご連絡綴り」で特記事項などを共有しています。保護者からの連絡は、朝・夕礼などで必ず報告し、必要に応じて担任が記録しています。朝礼ではほかに各自の予定や前日の気になったこと、保護者との関わり、前日の日誌も確認し他のポイントについても確認しています。

サブカテゴリー5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5／5

評価項目1
子どものプライバシー保護を徹底している

評点(OO)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◉あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した指導・援助を行っている	○非該当

評価項目2
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点(OOO)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 日常の教育・保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
◉あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した指導・援助を行っている	○非該当
◉あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当

サブカテゴリー5の講評

トイレ指導や着替えなど子どもの羞恥心への配慮をしています

個人情報保護に関しては入園時の説明会で説明するとともに、重要事項説明書への署名をもって同意の確認をしています。他機関からの問い合わせにも折り返して確認するなどの配慮をしています。子どもの羞恥心への配慮としては、トイレは年齢に合わせてドアを設置しています。ドアのないトイレでは排泄の指導と共に、プライバシーへの配慮や援助が出来るよう保育者が必ず付き添っています。プール遊びは園庭でおこなっていますが、着替えは部屋で行ない、外部から見えないように配慮しています。

子どもの人権については「姫百合幼稚園職員心得」に基づき、適切な対応がされています

子どもの人権や子どもや保護者の価値観のついては、入園前の面接や家庭生活調査票、個人面談等で家庭の様子を把握し、保護者の悩みや、子どもの集団生活での課題などを情報交換しながら、理解し合い対応できるよう配慮しています。保護者の価値観については園の理念や方針、基本的なルールなど園の実情と照らし合わせて受け入れています。子どもの人権については、「姫百合幼稚園職員心得」に「人権とは」として明記されており、職員は日々確認しながら、適切な対応ができるように努めています。職員の自らの振り返りは学年ごとにしています。

要保護児童対策地域協議会への参加など、虐待防止などの理解を深めています

市の要保護児童対策地域協議会への参加し、そこで得た情報を翌日の朝礼での報告や資料を回覧し、虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて理解を深めています。家庭生活で課題が見受けられる子どもに関しては、日常の状況の観察やそれぞれの職員が得た情報などを、園長を含めて報告し全職員で共有しています。虐待を受けている疑いや、受けている情報を把握した時には市の「保育のガイドライン」「虐待防止マニュアル」に沿い、適切な対応ができる仕組みを整えており、子ども家庭支援センターなどの関係機関と連携をとる体制が整備されています。

	サブカテゴリー6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5

評価項目1
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
◉あり　○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
◉あり　○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当

評価項目2
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
◉あり　○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリー6の講評

各種マニュアルや「姫百合幼稚園職員心得」をもとに業務の標準化を図っています

危機管理対策、事故等防止対策、安全、通園バス添乗マニュアルなどの各種マニュアルや、学期ごとの業務確認チェックリストを整備し、事務所に保管しています。そのほか「姫百合幼稚園職員心得」(人権とはなど)は個人配布されており、先のマニュアルとともに、分からないことや手順に疑問が生じたときなどは基本事項を確認しています。園の基本的な考えとしてマニュアルをベースに置き、業務の標準化を図りながらも、先輩保育者や副園長など、子どもや親と関わりを持っている職員との相談や情報交換を主に解決し、実践に繋がるよう努めています。

マニュアルや手順などは必要に応じて改変し、保護者や職員の意見も反映しています

マニュアルは必要に応じて(課題の発生など)見直しを行なっています。保護者からの意見や日々の生活・行事などの度に反省を行ない、現状の把握に努め、管理者を含め職員全員の意見を加えて検討し、随時見直しを行なっています。保護者からの意見や要望としては、行事などの際に保護者の特技を発表するなど、父母の活躍の機会を設けたり、運動会の時間の短縮などをしました。職員からの提案としては、子どもの様子を伝える難しさを感じたこともあり「ラーニングストーリー」(成長記録)を採用し、保護者からも好評を得ています。

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー6-4）

	サブカテゴリー4		
	サービスの実施項目	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35／35

1 評価項目1
子ども一人ひとりの発達の状態に応じた指導・援助を行っている

評点（○○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで指導・援助している	○非該当
◉あり　○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
◉あり　○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
◉あり　○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の教育・保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう指導・援助している	○非該当
◉あり　○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
◉あり　○なし	6. 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、指導・援助している	○非該当

評価項目1の講評

自由遊びの中で、主体的に関われる環境を整えています

一人ひとりの子どもの発達の過程や生活環境は、入園時の面談や送迎時の会話、家庭生活調査票、個人面談などで全体的な姿を把握しています。10時30分までは自由に遊べる時間とし、園内の好きな場所や人、物でそれぞれに遊びを十分に楽しめるようにしています。クラスでは子どもの年齢や興味に合わせてコーナーを設置し、継続した遊びができるように配慮しています。子どもと必要な物を準備することで個性的な配置になっています。また、クラスの仕切りも外しており、自由に他クラスの子や職員と関われるようになっています。

年齢の枠を超えた関わりの中で、憧れや労りの気持ちが育まれています

当園が取り組んでいる保育活動「種育」の一つに、「こころの種」(思いやりと人と関わる力が育つ)とあり、年上や年下の子どもたちと関わりながら、思いやりやいたわりの気持ちを育んでいます。年度当初は年長児が園での生活の仕方を教えたり、意図的に年少児や系列園の保育園児と関わる時間を設けています。異文化に触れる機会としては、外国籍の保護者にお誕生会などで母国語を披露してもらっています。小学校への円滑な接続に向けては、幼小保連絡会への参加、小学生の職業体験の受け入れ、学校訪問、交流などで就学への期待を持たせています。

子どもの特性に合わせた関わりと、適切な支援の配慮と援助をしています

配慮が必要な子どもを受け入れるなかで、他児と一緒に過ごし自然に関わりが持てるように配慮しています。市による年5回の巡回指導で助言を受け保育に反映しています。保護者の承諾を得て、専門機関との連携も行なっています。出来ない事を隠すのではなく、どの子も出し合って認め合い、助け合えるように援助しています。必要に応じて補助に入る保育者の確保もして、手厚い支援ができるようにしています。発達の過程で生じる子ども同士のトラブルに対しては、子どもの気持ちに寄り添い、代弁や言葉で気持ちを伝える事が出来るように援助しています。

2 評価項目2
子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した教育・保育を行っている

評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
◉あり　○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう指導・援助している	○非該当
◉あり　○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
◉あり　○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

登降園時に連絡メモや保護者との会話などで家庭と園の様子を互いに確認しています

登園時には連絡メモや保護者との会話から、家庭での様子や体調などについて聞き取りをしています。毎朝主に副園長が門で受け入れをしているほか、園バス担当職員もそれぞれ親子の様子を視診と会話から把握し、担任に確実に引き継いでいます。連絡メモは事務所で集約し、全職員で情報を共有することで、どの職員も適切な対応ができるようにしています。降園時には口頭や園独自の帳票（3枚複写で園と担任控え、保護者宛て）に必要事項を記入し連絡できるようにしています。職員間の連絡ミスや誤解の無いように、記入者以外の職員も確認しています。

保護者へも基本的生活習慣の大切さを伝え、連携した援助が出来るようにしています

年齢ごとの指導計画の中で、発達の状態に応じた食事や排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくように援助しています。保護者へも伝え家庭と連携して取り組んでいます。排泄については一人ひとりの間隔を把握してトイレに促しています。食具については、食事はまず楽しくを基本に、5歳児の2学期ころから豆つかみなど遊びの中に取りいれ、自然に身につくようにしています。歯磨きは園では行なっていませんが、5歳児は歯科検診の時に年1回歯科指導を実施しています。また、「良い歯賞」という賞を設け、子どもの楽しみになっています。

子どもの年齢や健康状態、生活リズムなどに合わせた入眠時間や長さの調整をしています

午睡は年齢や健康状態、家庭での生活リズムを考慮して実施しています。基本的な長さや時間帯は決めていますが、一人ひとりの状況に合わせた入眠時間や長さ、時間帯の配慮しています。預かり保育では使い慣れたタオルケットを持参してもらい、安心して過ごせるように保護者の意向と本人の様子に合わせて対応しています。5歳児は夏以降午睡時間を徐々に減らしています。午睡を無くしてからの活動としては、自由に好きな遊びをして過ごしています。預かり時間の長い子については、体力や体調などを考慮して、体を休めるように配慮しています。

3 評価項目3
日常の教育・保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点（○○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◉あり　○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう指導・援助している	○非該当
◉あり　○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◉あり　○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◉あり　○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
◉あり　○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

自由に遊べる時間と空間を保障し、子どもの意見を取り入れた環境を整えています

午前と午後に自由に遊べる時間を十分に確保し、クラスの枠を超えて好きな場所で好きな遊びを楽しめるように環境を整えています。室内は子どもの興味を持っていることや様子を含めて、子どもの意見を取り入れながら環境を設定しており、特徴あるコーナーが作られています。園庭は天然芝で固定遊具や竹馬、三輪車、ボールなど自由に選択して遊んでいます。集団活動へ入れない子どもについては、一人ひとりの様子に合わせた誘い方を工夫し、言葉だけでなく楽しんで参加している子どもの様子を見せたり、写真などの視覚的な誘いも取り入れています。

絵本や言葉のやり取り、絵画、制作遊びなど様々な表現活動を楽しんでいます

クラスには絵本を設置し読み聞かせなど日ごろから絵本に親しむとともに、子ども一人ひとりに丁寧に話しかけ発語を促しています。絵画、制作、歌やお遊戯などを体験する機会を設け、子ども同士の関わりを積極的に行ない、遊び(しりとり、なぞなぞ、カードストーリーなど)の中で言葉の獲得や、友だち同士言葉でコミュニケーションをとることに興味が持てるようにしています。年中や年長児は自分の道具箱(ハサミ、鉛筆消しゴム、水彩絵の具など)を準備し、制作時に活用しています。学年で持ち物を変えることで憧れの気持ちが持てるようにしています。

散歩や果樹の収穫などを通して季節の移り変わりを感じられるようにしています

当園は玉川上水に隣接するなど、自然環境に恵まれ活動予定に合わせて散歩に出かけています。職員はネイチャーゲーム指導員の資格を持ち、自然を取り入れたたビンゴゲームや通常のあそびに五感を取り入れています。自然に触れ、仲間と思いを共有するプログラムを学んでいます。玉川上水の景色や園庭の果樹園での収穫、昆虫採集や観察で四季の移り変わりを体感しています。落ち葉をたくさん集めてプールを作り、家庭では経験できないような内容も取り入れています。決まりやルールについては、子ども自身が守ることの大切さに気付けるようにしています。

4 評価項目4
日常の教育・保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◉あり　○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当

評価項目4の講評

様々な行事を実施し、子どもが興味を持って楽しく参加できるようにしています

行事は体験から学ぶことを大切にし、日本の伝統的なもの(七夕や節分など)や運動会など成長を感じ取れるもの、季節を感じ取れるもの(芋煮会や焼き芋)など様々な行事を実施しています。年齢に合わせた参加の方法や内容を毎年検討し、企画担当者を中心に、全園児、全職員で関われるようにしています。小規模園の良さを活かし、時間や日程を考慮し、子どもも保護者も他クラスの成長も見られるように実施しています。憧れや優しさを育むきっかけづくりと、我が子の成長を再確認できる機会となり、保護者が将来への期待が得られるように配慮しています。

行事当日までの過程も大切にし子どもが達成感を味わえるようにしています

行事は日ごろ取り組んでいる活動の延長として、無理のない範囲で頑張れる内容を考慮しています。その中でも運動会や発表会は子どもたちで話し合う機会を持ち、クラス全体で取り組む内容になっています。行事の前には子ども達にそのテーマや内容を伝え、そこからイメージを一緒に膨らませながら運動遊びや、表現活動での演目、役、小道具決めと作成など当日までの過程を大切にして取り組んでいます。その活動の中でクラスの一員としての意識や責任を持つ事ことについて、年齢なりに経験できるように取り組み、達成感を味わう機会となっています。

子どもの自信につながる行事も実施し、保護者の理解も深まるように配慮しています

上述以外に食育につながるカレーパーティーなどのほか、大きな経験となる「夏の合宿」「冬の合宿」も実施し、これらを経験することで自信につながり成長が見られています。また、全学年対象の「縄跳び大会」が行われ、個人戦や団体戦など回数やスタイルを競っています。保護者へは年度初めに「年間行事予定表」を配布し、保護者参加の行事に日程調整など見通しを持って参加できるようにしています。季節の行事は、保護者へも習わしや由来を伝え、関心を持ってもらえるよう配慮しています。子どもが取り組んでいる様子はブログで随時紹介しています。

5 評価項目5
在園時間の異なる子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 在園時間の異なる子ども同士が楽しく遊べるよう配慮をしている	○非該当
◉あり　○なし	2. 在園時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◉あり　○なし	3. 在園時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

預かり保育専用の施設を整備し長時間の中でも落ち着いて過ごせるように配慮しています

長時間保育を利用する子どもたちは、徒歩やバス通園の子どもと到着時間を揃えることで、受け入れや仕度が一緒にでき、遊びへの移行がスムーズになっています。14時降園を基本として、その後の預かり保育時間は別棟に移動して過ごしています。預かり保育専用の環境として別棟が整備され、一軒家の家庭的な雰囲気に近くなるように配慮されており、長時間の中でも落ち着いてゆっくり過ごせるようにしています。異年齢で過ごす時間は兄弟のいない子にとって、思いやりやいたわりの心を育む大切な機会となっています。

子どもが楽しく安心して遊べるように施設内環境を整え決まった職員が担当しています

預かり保育時間はそれぞれ好きな遊びを選択して遊んでいますが、時には長時間保育利用児だけのお楽しみ計画も取り入れています。朝夕で玩具も入れ替えその都度新鮮な気もちで遊べるように考慮しています。別棟での遊びに入る際には、「自分だけ園に残された」という感覚にならないよう、クラスとは違う環境構成や玩具を揃えることで、「別の場所に遊びに来た。くつろげる場所に来た」と楽しみな気持ちになれるよう十分に配慮し移動しています。朝夕の非常勤職員については、同じ職員に依頼しており、慣れ親しみ安心して過ごせるようにしています。

6 評価項目6
子どもが食事を楽しめるよう配慮している

評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◉あり　○なし	2. 園で提供する食事は、メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◉あり　○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◉あり　○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当

評価項目6の講評

食事は普段と雰囲気を変える機会も設け楽しく食べられるようにしています

給食は会話を楽しみながら食事をしています。椅子やテーブルは年齢や発達に合わせて使用し、正しい姿勢で食べられるようにしています。食具については各家庭で準備してもらっています。天候や季節によっては、園庭や屋上など雰囲気を変えての食事も楽しんでいます。時には担任の入れ替えや、異年齢での食事の機会も設けています。日常的に学年合同や隣のクラスとの合同、男の子女の子で分ける日など定期的に行なうなどもしています。サンドイッチの日に合わせてサンドイッチバイキングも実施しています。5歳児は当番活動として配膳をしています。

楽しく食べられる給食の提供とアレルギーに配慮した対応をしています

給食は月と木曜日は給食弁当、火と金曜日は家庭からのお弁当、水曜日はサンドイッチやおにぎりなどバラエティーに富んだ食事をしています。行事食として盛り付けなどの工夫はしてませんが、カレーライスパーティーや芋煮会、もちつきなどの季節も感じられる食の行事を取り入れています。食物アレルギーのある子どもについては、アレルギー幼稚園生活管理指導表を全園児提出してもらい、個別面談で保護者と除去の方法を検討し実施しています。配膳ミスが無いよう、専用のトレーや皿、弁当箱に付ける名札や写真入りの札を立てています。

行事の中に食べることをテーマに織り込み、食への関心を深めています

「げんきの種」(生きる力を育てる食育)として、自然に親しみ栽培などを通して豊かな感性を育てていきたいと取り組んでいます。柿や梅、びわなどを植えた果樹園では収穫を楽しみ、秋には「芋煮会」で全園児で調理したものを食べています。花壇を活用した菜園では、夏野菜などを育てて実際に食しています。年間行事の中に食べる事をテーマにした内容を織り込み、調理し食べたい物を選び、主体的に関われるようにしています。カレーパーティーでは学年ごとに切る、むく、混ぜるなど分担しています。餅つきでは味付けも自分で選んで食べています。

7 評価項目7
子どもが心身の健康を維持できるよう指導・援助している

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように指導・援助している	○非該当
◉あり　○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
◉あり　○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組みを行っている	○非該当

評価項目7の講評

けがや病気を防止するため、避難訓練や専門職員による指導を実施しています

法人の系列保育園の栄養士や看護師の協力を得て、子どもの健康や安全について話をしてもらう機会を設けています。日々の生活の中での約束事は安易に設定せず、良し悪しと解決策を子ども一緒に考え、自身で状況を把握し判断できるようにしています。小さいけがについてはその経験が次の学びに繋がるように指導しています。危険防止については毎月の避難訓練や、年長が毎年防災館へ見学に行っています。また、散歩や制作などの際はその都度遊具や道具の使い方を伝えています。健康に関しては手洗い指導や規則正しい生活、歯磨き指導など実施しています。

医療機関との連携し子どもの健康維持と適切な対応が出来るようにしています

歯科検診や誕生月の身体測定などを実施し、「幼児健康診断票」に記録しています。医療的なケアが必要な子どもに対しては、保護者が医師より受けている指導を個別面談で聞き取り、適切な対応ができるようにしています。園で気になることがあったときには、保護者を通して医師に確認してもらい回答を得てから対応できるようにしています。アナフィラキシー緊急補助治療に使用する緊急用キットの使い方については、年度当初に確認しています。自動体外除細動器（AED）の使い方については、全職員が上級救命講習取得しており、緊急時に備えています。

保護者にも子ども病気について情報を提供し、健康維持に向けた取り組みを行っています

熱性痙攣や抗アレルギー薬、エピペン、軟膏等医師の処方を受けている薬に関しては、個人の薬を年間通して常備し、職員間で使用方法等を確認しています。与薬は基本的に行なっていませんが、熱性痙攣や慢性疾患などについては、園指定の投薬願いに記入してもらったうえで投薬しています。保護者へは学年だよりに、季節に応じて流行する病気や健康管理について記載し配布するなど、子どもの健康維持に向けた取り組みをしています。園内で感染症などが発症した場合は園舎内に掲示し注意喚起するなど、感染症情報は速やかに保護者に情報を提供しています。

8 評価項目8
保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点（○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 保護者には、生活形態や子育ての考え方の違いなど、個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
◉あり　○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
◉あり　○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
◉あり　○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
◉あり　○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の教育・保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

連絡帳や保護者との会話などを通して、信頼関係構築に努めています

入園時に保護者の就労状況などについて把握し、基本的な保育時間は決まっていますが、急な残業など保育時間の変更についてはできる限り柔軟に対応しています。保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みとしては、連絡メモのやり取りや保護者との積極的な会話などで子どもの状況を伝え、安心して子どもを預けられるように、共に育てる姿勢を大切にしています。保護者の悩みや不安を受容し、期待に沿うよう対応するなど、信頼関係構築に努めています。また、子育てアドバイザーの窓口を設け、経験豊富な職員が対応できるようにしています。

クラス父母会や園の行事、育成会など保護者同士が交流できる機会を設けています

学年父母会や保護者参加の行事(育成会主催のひめゆり祭り、運動会、発表会)、保育参観など保護者同士が交流できる機会を設けています。園行事での係活動やクラスや学年、生まれ月ごとに開催される茶話会などの場も設けているほか、代々受け継がれる保護者の会（育成会）があり、独立して活動していますが、使用届けを提出してもらう事で利用可能となる活動スペースを園内に確保し、交流の場として使用できるようにしています。全保護者を担当分けし園と関わる機会を設けています。行事ごとに必ず園側も同席して集まり、意見交換をしています。

個人面談や「ラーニングストーリー」を通して、保護者との共通認識を得ています

家庭生活調査票の提出や個人面談、学年父母会、送迎時の会話などで子どもの成長の目安や現状の子どもの様子、保育活動などについて説明し、保護者との共通認識を持てるようにしています。保育参観では子どもの様子とともに、保育士の子どもの関わり方も見てもらい、育児のヒントとなるようにしています。また、一人ひとりの園生活を写真入りで知らせる「ラーニングストーリー」では、園と家庭を月に一度やり取りし、保護者にも記録を残してもらい、子育ての視点を共有しています。今後絵本の読み聞かせなどの勉強会の実施を検討しています。

9	評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている 評点（○○）		
	評価	標準項目	
	◉あり　○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
	◉あり　○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目9の講評

近隣の自然豊かな公園や電車を利用するなど様々な体験をしています

近隣には自然に恵まれた玉川上水や公園があり、季節ごとに目的に合わせて散歩に出かけています。年長児は電車を利用してクッキング活動の買い物や冒険遠足を実施しています。都外の遠足やスキー合宿の際にも電車を利用しています。行事では係活動で父母が出入りしているほか、学生の実習や職場体験の受け入れをしており、子どもが職員以外の人と交流する機会となっています。年数回、系列保育園と交流しており歌の披露や一緒に遊ぶなどしています。今後は他の施設(警察、消防、高齢者施設など)との交流も視野に計画していくことに期待しています。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル①	園は職員の学びをサポートする体制を整えて、人材育成に取り組んでいます	
内容①	園は中・長期計画で「保育の質の確保のための研修内容や研修課題の厳選による効率の良い人材育成」を目指しています。中長期計画に沿って、テーマやアプローチ、参加方法を工夫しながら園内研修の充実に取り組んでいます。園内研修はパート職員を含む全職員を対象にしています。職員の自主的な学びをサポートするため、出勤扱いの研究日を1学期に1日設けています。他園の公開保育に参加させて、気づきや工夫を促しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-3-2	全体的な計画（教育課程を含む）や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している
タイトル②	「ラーニングストーリー」を導入し保護者と子育ての視点を共有しています	
内容②	今年度より職員の意見を取り入れる形で、成長記録として「ラーニングストーリー（子どもの日々の様子を"成長の物語"としてとらえ、写真を交えて、子ども1人につき月に1回記録するもの）」を導入しました。写真を添付し、園での子どもの興味や関心、活動などのエピソードを添えて、保護者からも家での様子のコメントや写真を添付してもらいやり取りし、互いの様子を知る機会としています。この取り組みは子どもの発達や成長を共に確認しながら子育ての視点を共有しするために、優れた取り組みであり、保護者からも好評を得ています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	2-1-1	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している
タイトル③	職員の事務負担の軽減を目指し、作業効率の改善に取り組んでいます	
内容③	「ラーニングストーリー」の作成は、職員にとってもより注意深く子どもを観察するようになるなどの効果を発揮しています。ただし、作成に時間がかかるため、作業効率の改善が課題となっています。そのため、「ラーニングストーリー」を別の記録に応用することなどを含めて、より良い運用方法を模索しています。これを1例として、特に職員の事務的な業務負担の軽減に取り組んでいます。	